第9回CSR企業調査アンケート

Ⅳ カーボンニュートラルに向けた取組についてお答えください。

(1) カーボンニュートラルに関連する取組・お考えについてお答えください。

(1-1) 自社がカーボンニュートラルに取り組む必要性を意識していますか。

- a. 大変意識している
- b. 意識している
- c. あまり意識していない
- d. 意識していない
- e. 検討中である

(1-2) 貴社のカーボンニュートラルに向けた取組状況について、以下から選択してください。

- a. 計画・目標を策定し、実施中である
- b. 計画・目標を策定中である

- ◯ c. カーボンニュートラルを目指すかどうかを社内で検討中である
- ◯ d. 取り組んでいない

(1-3) (1-2)で「a. 計画・目標を策定し、実施中である」、「b. 計画・目標を策定中である」、「c. カーボンニュートラルを目指すかどうかを社内で検討中である」とお答えになった方に伺います。カーボンニュートラルに向けた取組を検討し始めた時期・きっかけをお答えください（複数回答可）。

- ☐ a. COP21でのパリ協定*の合意 (2015)
- ☐ b. パリ協定*発効 (2016)
- ☐ c. 伊勢志摩サミット** (2016)
- ☐ d. 第５次エネルギー基本計画*** (2018)
- ☐ e. 菅前首相の「2050年カーボンニュートラル」宣言****（2020）
- ☐ f. 2021年気候サミット**** （2021）
- ☐ g. 第６次エネルギー基本計画***** （2021）
- ☐ h. 所属する経済団体の方針・決定等を受けて （具体的な組織と時期をご記載ください）

  自由記述

- ☐ i. 所属する業界団体の方針・決定等を受けて （具体的な組織と時期をご記載ください）

  自由記述

- [ ] j. 所属する国際機関の方針・決定等を受けて （具体的な組織と時期をご記載ください）

自由記述

- [ ] k. NGO等とのコミュニケーションを通じて （具体的な組織と時期をご記載ください）

自由記述

- [ ] l. 従業員からの要望によって （具体的な契機があればご記載ください）

自由記述

- [ ] m. その他

自由記述

*** 2015年に開催された「第21回国連気候変動枠組条約締約国会議」（COP21）で合意され、2016年に発効されたパリ協定では、各国の温室効果ガス排出量削減目標の策定・提出が義務付けられ、日本を含む多くの国は2030年までの削減目標を発表しました。**
**** 2016年5月に開催された伊勢志摩サミットでは「気候変動・エネルギー問題」がアジェンダとして掲げられ、それに先立つG7環境大臣会合ではパリ協定を視野に入れた早期の戦略策定が謳われました。**
***** 2018年7月に経産省が策定した「第５次エネルギー基本計画」では、2030年・2050年の温室効果ガス排出量削減目標とそれぞれのシナリオが示され、主な施策・方向の一つとして再生可能エネルギーが位置付けられました。**
****** 菅前首相は、2020年10月の所信表明演説で2050年までにカーボンニュートラルを目指すと明言し、更に2021年4月の気候サミットでは、2013年度比での2030年の温室効果ガス46%削減を目指すとしています。**
******* 2021年10月に経産省が策定した「第６次エネルギー基本計画」では、2030年までの温室効果ガス排出量46%削減、2050年までのカーボンニュートラルを目指すための基本方針が示され、再エネの主力電源化が掲げられました。**

(1-4) (1-2)で「a. 計画・目標を策定し、実施中である」、「b. 計画・目標を策定中である」、「c. カーボンニュートラルを目指すかどうかを社内で検討中である」とお答え

になった方に伺います。カーボンニュートラルに取り組む主な理由をお答えください（複数回答可）。

- [ ] a. 社会課題の解決に繋がるため
- [ ] b. カーボンニュートラルに関連する新市場が誕生したため
- [ ] c. カーボンニュートラルに関連する新市場が誕生すると予測しているため
- [ ] d. 所属する業界等で規制が進んでいるため
- [ ] e. 株価に反映されるため
- [ ] f. 会社の社会的評価が高まるため
- [ ] g. グリーンボンドや政府の支援によって敷居が下がったため
- [ ] h. 株主・投資会社がカーボンニュートラルの推進を要求するため
- [ ] i. 評価機関がカーボンニュートラルに関する指標を評価項目に入れているから
- [ ] j. 所属する地域・コミュニティに利益を創出するため
- [ ] k. 将来世代への責任を果たすため
- [ ] l. 社員がカーボンニュートラルに向けた活動を評価するため
- [ ] m. NGOなど社会セクターがカーボンニュートラルの推進を要求するため
- [ ] n. グローバルスタンダードに対応するため
- [ ] o. カーボンニュートラルへの取組自体にポジティブなイメージがあるから（カッコいい・先進的など）

- [ ] p. その他

自由記述

(1-5) (1-2)で「取り組んでいない」とお答えになった方に伺います。カーボンニュートラルに向けた取組を実施・検討していない理由を教えてください。

- [ ] a. 中心業務への悪影響が大きいから
- [ ] b. 雇用が失われるから
- [ ] c. 研究開発にコストを割けないから
- [ ] d. サプライチェーンの上流・下流との協働が難しいから
- [ ] e. カーボンニュートラルに関する情報が足りないから
- [ ] f. カーボンニュートラルに関する施策等の相談先が分からないから
- [ ] g. 制度的・法的な障壁が高いから
- [ ] h. 人材を割けないから
- [ ] i. 社会課題の解決に繋がらないから
- [ ] j. 株価に反映されないから
- [ ] k. 社員がカーボンニュートラルへの取組を評価していないから
- [ ] l. 株主・投資会社がカーボンニュートラルへの取組を評価していないから
- [ ] m. 消費者・顧客がカーボンニュートラルへの取組を評価していないから

- [ ] n. 経営層が積極的でないから
- [ ] o. 経営戦略に落とし込めないから
- [ ] p. コロナ禍のために取り組む余裕がないから
- [ ] q. その他

自由記述

(1-6) (1-2)で「a. 計画・目標を策定し、実施中である」、「b. 計画・目標を策定中である」、「c. カーボンニュートラルを目指すかどうかを社内で検討中である」とお答えになった方に伺います。カーボンニュートラルに向けた取組を主導しているのはどの部署ですか。

- ○ a. 経営層・経営会議体 (取締役会・経営執行会議など)
- ○ b. CSR担当部署
- ○ c. 環境に関する専門部署
- ○ d. カーボンニュートラルに特化した部署・チーム
- ○ e. その他

自由記述

(1-7) (1-2)で「a. 計画・目標を策定し、実施中である」、「b. 計画・目標を策定中である」、「c. カーボンニュートラルを目指すかどうかを社内で検討中である」とお答えになった方に伺います。カーボンニュートラルに向けた取組の検討を開始して以降、温室効果ガス排出量削減に向けたガバナンス体制は変更されましたか。「変更した」とお答えになった場合、その時期を記入してください。

- ◯ a. 変更した

自由記述

- ◯ b. 変更していない

(1-8) (1-2)で「a. 計画・目標を策定し、実施中である」、「b. 計画・目標を策定中である」、「c. カーボンニュートラルを目指すかどうかを社内で検討中である」とお答えになった方に伺います。カーボンニュートラルに向けた、経営層・経営会議体の役割をご回答ください（複数回答可）。

- ☐ a. カーボンニュートラルに向けた取組を主導する部署の責任者
- ☐ b. カーボンニュートラルに向けた部署間の連携の管理
- ☐ c. カーボンニュートラルに向けた目標設定の責任者
- ☐ d. カーボンニュートラルに向けた施策策定の責任者
- ☐ e. カーボンニュートラルに関するパブリック・アフェアーズ*の責任者
- ☐ f. カーボンニュートラルに関する対外発信活動の責任者
- ☐ g. カーボンニュートラルに関する業界団体・経済団体との調整の責任者
- ☐ i. 株主・投資会社とのコミュニケーションの責任者
- ☐ j. その他

自由記述

*** パブリック・アフェアーズとは政府やメディアを対象として実施される公共的なイシューに関する広報活動やコミュニケーション全般を指します。**

(1-9) カーボンニュートラルや温室効果ガス排出量削減に関する情報はどこで収集していますか。自由記述欄があるものについては具体的なメディア名等もお答えください（複数回答可）。

- [ ] a. 政府の発行する各種資料
- [ ] b. 他社のサステナビリティ・レポート等
- [ ] c. 特許
- [ ] d. メディア（新聞、雑誌等）

  自由記述

- [ ] e. 非財務情報等の専門データベース

  自由記述

- [ ] f. 国際機関・NGO・シンクタンク等のレポートやデータベース

  自由記述

- [ ] g. 所属する業界団体などの会誌等

  自由記述

- [ ] h. その他

  自由記述

(1-10)　(1-2)で「a. 計画・目標を策定し、実施中である」、「b. 計画・目標を策定中である」、「c. カーボンニュートラルを目指すかどうかを社内で検討中である」とお答えになった方に伺います。カーボンニュートラルに関する戦略策定や施策の実施において、相談先として活用している組織があれば教えてください（複数選択可）。

- [ ] a. 民間コンサルタント
- [ ] b. シンクタンク
- [ ] c. 中央官庁
- [ ] d. 地方自治体
- [ ] e. 国際機関
- [ ] f. NGO
- [ ] g. 経済団体
- [ ] h. 業界団体
- [ ] i. その他

自由記述

(1-11) (1-2)で「a. 計画・目標を策定し、実施中である」、「b. 計画・目標を策定中である」、「c. カーボンニュートラルを目指すかどうかを社内で検討中である」とお答えになった方に伺います。2030年・2050年*それぞれに向けた、カーボンニュートラルに関する目標策定について教えてください。2030年・2050年以外の年に向けた取組を実施している場合は、より近い方にお答えください（複数回答可）。

	2030年			2050年		
	実施している			実施している		

		実施を予定・検討している	実施の予定はない		実施を予定・検討している	実施の予定はない
a. 温室効果ガス排出量削減の具体的な数値目標の設定	○	○	○	○	○	○
b. 自社や社会に関するシナリオ分析の実施	○	○	○	○	○	○
c. バックキャスティングによる目標設定**	○	○	○	○	○	○
d. フォアキャスティングによる目標設定**	○	○	○	○	○	○
e. スコープ1***の温室効果ガス排出削減率の設定	○	○	○	○	○	○
f. スコープ2***の温室効果ガス排出削減率の設定	○	○	○	○	○	○
g. スコープ3***の温室効果ガス排出削減率の設定	○	○	○	○	○	○
h. 使用電力の再生可能エネルギー比率の目標設定	○	○	○	○	○	○
i. 製品の新規資源使用率の目標設定	○	○	○	○	○	○
j. 廃棄量・率の目標設定	○	○	○	○	○	○
k. 数値目標以外の目標・基本方針などの設定	○	○	○	○	○	○

l. 上記を達成するためのアクションプランやプログラム	○	○	○	○	○	○
m. その他	○	○	○	○	○	○

「m. その他」を選択した方は、その内容を具体的にご記入ください。

*** 2021年10月に経産省が策定した「第６次エネルギー基本計画」では、2030年までの温室効果ガス排出量46%削減、2050年までのカーボンニュートラルを目指すための基本方針が示され、再エネの主力電源化が掲げられました。**
**** 企業が内的・外的条件や環境の分析に基づいて戦略を策定することをフォアキャスティング、望ましい未来のあり方を先に設定する戦略策定の手法をバックキャスティングといいます。**
***** 企業による温室効果ガスの直接的排出をスコープ１、電力・ガス会社などから提供された電気や熱の利用に伴う間接排出をスコープ２、それ以外の排出をスコープ３といいます。**

(1-12) (1-2)で「a. 計画・目標を策定し、実施中である」、「b. 計画・目標を策定中である」、「c. カーボンニュートラルを目指すかどうかを社内で検討中である」とお答えになった方に伺います。カーボンニュートラルに向けた取組を実施するにあたっての課題を教えてください（複数選択可）。

- [ ] a. 市場が十分に形成されていない
- [ ] b. 非財務情報の測定・管理・公開が難しい
- [ ] c. サプライチェーンの上流・下流との協働が難しい
- [ ] d. カーボンニュートラルに関する情報が足りない
- [ ] e. 制度的・法的な障壁が高い

- [ ] f. 人材を割けない
- [ ] g. 国際標準に合わせるのが難しい
- [ ] h. 雇用の確保が難しい
- [ ] i. 政府による方針・ガイドラインの提示が足りない
- [ ] j. 金融・資金調達面での条件が整っていない
- [ ] k. 地域コミュニティからの受容度に課題がある
- [ ] l. 経営戦略に落とし込めない
- [ ] m. 業界全体での協働が足りない
- [ ] n. コロナ禍の影響で取組が難しい・遅れている
- [ ] o. その他

自由記述

(1-13) カーボンニュートラルに取り組みやすくなる条件についてお答えください（複数回答可）。

- [ ] a. カーボンプライシングに関する制度の導入・拡充
- [ ] b. 金融機関によるグリーンボンド、サステナビリティボンドなどの拡充
- [ ] c. 送電網の活用や電力の自由化に関する規制緩和
- [ ] d. 荒廃農地の活用に関する規制緩和

- [ ] e. カーボンニュートラル関係の情報公開に関する政府や国際機関のガイドライン
- [ ] f. カーボンニュートラルに資する研究開発への補助金や税制上の優遇
- [ ] g. 工場や事業所での温室効果ガス排出量削減の取組に対する補助金や税制上の優遇
- [ ] h. カーボンニュートラルに資する製品・サービスへの補助金や税制上の優遇
- [ ] i. 再生可能エネルギーの導入に対する補助金や税制上の優遇
- [ ] j. 情報・技術・ノウハウ等共有のためのプラットフォーム設立
- [ ] k. 地方自治体によるプログラムの受け入れやクラスター形成策
- [ ] l. その他

自由記述

(1-14) (1-2)で「a. 計画・目標を策定し、実施中である」、「b. 計画・目標を策定中である」、「c. カーボンニュートラルを目指すかどうかを社内で検討中である」とお答えになった方に伺います。カーボンニュートラルに向けた好ましい制度・環境づくりのため、実施している公共政策活動をお答えください（複数回答可）。

- [ ] a. 政党・政治家への政策提言
- [ ] b. 中央省庁への政策提言
- [ ] c. 地方自治体への政策提言
- [ ] d. メディアへの政策に関連する情報提供

- [ ] e. 所属する業界団体等による政策提言活動への参加
- [ ] f. NPOやNGOなどのアドボカシー活動*への協力
- [ ] g. その他

自由記述

*** アドボカシー活動とは、主にNPO・NGO等が政策に影響を与えるために実施するロビイングや政策提言を意味します。**

(1-15) 次のカーボンプライシングの各施策に対する考えをお答えください。

	導入・拡充してほしい	現状が好ましい	導入・拡充は好ましくない	分からない
a. 炭素税の導入	○	○	○	○
b. 排出権取引制度の拡充	○	○	○	○
c. クレジット制度の拡充	○	○	○	○

メニューに戻る　　回答完了